

平成29年第1回定例夕張市議会

平成29年度 教育行政執行方針

平成29年3月9日

## 平成29年度 教育行政執行方針

|   |                                    |    |
|---|------------------------------------|----|
| 1 | はじめに .....                         | 1  |
| 2 | 教育行政の基本姿勢 .....                    | 1  |
| 3 | 重点施策の推進 .....                      | 2  |
|   | (1)「確かな学力を身につける教育の推進」 .....        | 4  |
|   | (2)「豊かな人間性を身につける教育の推進」 .....       | 6  |
|   | (3)「健やかな心身を育む教育の推進」 .....          | 8  |
|   | (4)「人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進」<br>..... | 9  |
| 4 | おすびに .....                         | 12 |

## 1 はじめに

平成 29 年第 1 回定例市議会の開会に当たり、夕張市教育委員会の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

夕張市は国や北海道の動向を注視するとともに、夕張市民の夢や希望をもって本市の地域社会を形成するため、市民が一体となり「夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略」を策定いたしました。

夕張市教育委員会は、総合戦略との整合性を図り、教育に携わるすべての関係者がそれぞれの果たすべき役割と責務を自覚し、教育の役割が果たす目標に向けて取り組んでまいります。

## 2 教育行政の基本姿勢

夕張市は財政難、人口減少、老朽化した公共施設など途切れることなく「課題」が発生しております。しかしながら、これをできない理由とすることなく、これまで市民が努力し挑戦して築き上げた礎を大切にして、子どもたちが未来に夢や希望をもち、故郷（ふるさと）に誇りをもてる地域づくりに取り組んでまいります。

加えて、市民一人ひとりが生涯にわたり健康を考え、スポーツや文化に親しみ、生きがいを感じる豊かな生涯学習社会の実現をめざすため、学校・家庭・地域・行政が連携し、協働するまちづくりを推進いたします。

以上を鑑み、夕張市教育大綱の基本目標に基づき、平成 29 年度で取り組む重点施策について申し上げます。

### 3 重点施策の推進

ご承知のとおり、教育は一朝一夕で成しうるものではございません。今ある教育の維持は最低限必要なことですが、これに満足し立ち止まっておられません。数年後には、市民全てのみなさまの教育環境水準を引き上げるとともに、今の子どもたちの将来に向かって、根気強く種をまき続けることが重要であると強く感じているところであります。

私は、ゼロ歳児から高校、高等養護学校を卒業するまで、幼保、小中学校、高校、高等養護学校が連携を図り、夕張市の教育大綱の実現を「実感」することのできる取り組みを着実に、かつスピード感をもって実行することが、今、求められていると考えており、そのためにも、様々な機関との連携を図り、教育素材のすそ野を広げ、教育環境の充実を図ってまいります。

前職では学校ビジョンや地域の思い、保護者や生徒の願いが叶えられず、どちらかと言えばあきらめ感がただよっておりましたが、これを変えたのは保護者の熱意でした。幾度となく学校の理想像を議論し、たどり着いたのは「学力の向上」「部活動の活性化」でありました。

学校が行うこと、保護者がやれること、行政にお願いすることの3つに区分けし、平成27年度は実行に移すための準備を整えました。

同じころ、夕張市は夕張高校魅力化ワーキンググループを立ち上げ、そのグループと学校・保護者が多くの議論を交わした結果、夕張高校支援の予算化に繋がられたものであります。保護者の思いが、行政を動かしたのです。小さな力が大きな波を引き起こす画期的な取組でした。この成功体験は、やらないでいることの無力さを知り、逆にやるための一歩を踏み出すことの有益性を強く感じた出来事でありました。

平成28年度の事業が執行され、生徒の活動は顕著となって現れました。保護者の主催事業も実施されたことから、学校は躍動感に溢れてまいりました。

今、私たちは夕張に住む子どもたちに何ができるのか、市民全員が真剣に考える時を迎えたと思っております。

一部の人だけが思い、活動しても全く意味がございません。

まさに夕張市は今、大変革期を迎えており、この機を逃すと大きな損失につながることから、地域住民が心を一つにして臨み、目の前の問題に目を背けず行動をともにすることこ

そが、夕張の明るい未来を切り拓くことに向かっていくと考えております。

未来ある子どもたちがこれからの人生を生きぬくために、確かな学力と体力を身につけさせることはとても重要であります。このため、市民のみなさまにはお力添えをいただくよう、心から願うものであります。

#### (1)「確かな学力を身につける教育の推進」

子どもたちが変化の激しい社会を生きぬくためには、基礎的な知識・技能と、課題を解決するのに必要な思考力、判断力、表現力及び創造力を高め育むことが重要です。義務教育においては、特に「学力の向上」と「体力の向上」が喫緊の課題であります。

学力向上に向けては、「ICT教育の充実」を図り、主要教科におけるデジタル教科書の活用を推進し、教科の興味・関心を高める工夫をいたします。

また、遠隔機能を設けた学習支援など、学習塾など民間独自の学習機能を活用し、学力向上につなげるよう取り組んでまいります。

また、国際社会で活躍できるグローバル人材育成のため、幼稚園から高等学校までの一貫した教育を維持し、特色ある教育活動の取り組みを推進いたします。

平成 32 年度より小学生は英語が教科化となるため、A L T の活用及び I C T を活用し、英語教育の拡充を図ってまいります。

さらに、地域資源である人材活用をすすめて、教育現場の負担軽減と、ゆとりある教育活動につなげ、一人ひとりの児童生徒へのきめ細かな指導と支援に努めてまいります。

幼小中高特の教育機関と地域がパートナーとして連携・協同し「地域とともにある学校」を一層推進するため、既存の小中学校サポート会議及び学校支援地域本部事業を基盤として、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）導入に向けた準備を進めてまいります。

北海道夕張高等学校の支援につきましては、夕張市高等学校対策委員会と協議を重ね、「夕張高校魅力化プロジェクト」との整合性を図りつつ、夕張高校魅力化推進事業の推進と将来に向けた人材育成に向け支援いたします。

特別支援教育につきましては、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、特別支援教育支援員の活用により、一人ひとりの教育ニーズに応じた指導や支援を図るための教育環境の整備を進めてまいります。

体力の向上に向けた取り組みでは、高等教育機関の専門性を活用し、幼小中高等学校が一貫して体力向上に向けた取り組みを推進いたします。

## (2)「豊かな人間性を身につける教育の推進」

子どもたちが互いに尊重し合い、礼儀正しく協調性のある人間育成に努めてまいります。

また、子どもたちの教育推進のため、教職員の資質向上や健康管理にも対応してまいります。

いじめの対応につきましては、学校・家庭・地域・関係機関と連携し、迅速かつチームで対応し、また、ネットトラブルから子どもたちを守るため、情報モラル教育充実に向けた各種教室の開催と保護者向け啓発資料等を通じ、学校・家庭の連携に努めてまいります。

道徳教育につきましては、平成 30 年度に小学校、平成 31 年度に中学校で特別な教科として位置付けられます。これを踏まえ、道徳の指導方法に関する研修会の開催や、道徳教育用教材の積極的な活用を図ってまいります。

学校保健につきましては、予防的見地からインフルエンザを含む感染症や食中毒、う歯、アレルギー対策を講じてまいります。医療・保健所等とのすみやかな連携を図り、安全で



元気に学校生活が過ごせる環境づくりに努めます。

また、食育教育については、食を通じて地域を理解し、食文化の継承、自然の恵みや勤労の大切さを育んでまいります。

児童生徒の通学につきましては、「夕張市通学路交通安全プログラム」に基づき、安心・安全なまちづくりを推進し、地域全体で子どもたちを守り育む意識を高めてまいります。特に、学校関係者や道路管理者等の関係機関と連携し、危険個所の情報収集と対策について迅速に対応してまいります。

教育環境整備につきましては、学習環境の整備に努めるとともに、校舎の長寿命化と安全対策のためのメンテナンスを実施してまいります。

学校教育の推進につきましては、教職員の資質・能力の向上に向けた研修会等の開催、及び校外で開催される研修会への参加促進を図ってまいります。

教職員による体罰やわいせつ行為、飲酒・酒気帯び運転など不祥事根絶に努め、市民との信頼関係の構築に一層取り組むとともに、教職員の健康管理については、引き続きストレスチェックを活用し、早期発見・早期治療等に向け迅速に対応してまいります。

### (3)「健やかな心身を育む教育の推進」

健康で逞しい身体づくりには、スポーツ環境の整備・充実に加え、計画的なスポーツ活動が重要です。

「文化・スポーツ交流のまち・夕張」の推進に向け、スポーツ指導者の招聘・育成並びに関連施設の活性化に努めてまいります。

平成29年度より、指定管理により運営される予定である文化スポーツセンター、平和運動公園、清水沢プールにつきましては、利用者の利便性及びスポーツ推進の観点から、指定管理者とともに効果的な運営に向けた対応に取り組んでまいります。

すでに指定管理による運営が行われている市民健康会館、市営球場、紅葉山パークゴルフ場につきましては、引き続き連携を図り、スポーツ大会やイベントの実施に係る運営の円滑化と利用促進を一層図ってまいります。

総合型地域スポーツクラブの推進につきましては、いつでも、どこでも、だれもが様々なスポーツや文化活動が可能となるため、体育協会・文化協会等との連携を強化し、市民の健康維持・促進に努めてまいります。

小学校における少年団活動と中学校の部活動の活性化及び夕張高校の部活動との連携を一層推進してまいります。

部活動指導者は活動の活性化に不可欠な存在であることから、部活動指導者の配置及び外部指導者の招聘に努めてまいります。

また、夕張高等学校魅力化推進に関連し、部活動に係る指導者連携に努めるとともに、夕張高等学校体育館・格技場・グラウンド等、施設の有効活用にも働きかけてまいります。

マウントレースイスキー場を中心に、夕張市は素晴らしい教育環境を有しております。

平成 28 年度より、小学校・中学校・高校では、スキー授業を体育の授業等に取り入れており、今後も地域の特色を生かした活用、魅力ある教育課程の推進に努めてまいります。

#### (4) 「人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進」

市民が潤いある生活を送るとともに、持続可能な地域づくりを進めるためには、生涯学習活動を通じ、その成果を生かせる環境づくりが重要であります。

平成 31 年度完成予定の複合施設は、子育て支援・社会教育の拠点施設としての役割を担うため、拠点施設に係るソフト事業の整備に取り組んでまいります。

このため、市民の様々なニーズに応え、学習機会を提供する「人材バンク」の整備が重要であります。個人・活動団体に係る指導可能な領域を調査し、北海道の人材バンクとの連携を図り、社会教育の推進に努めてまいります。

文化財の保護・活用につきましては、国の天然記念物として指定された夕張岳に係る夕張岳ヒュッテ管理者、歴史建造物や資料を守る市民団体・関係機関との連携を推進し、啓発活動などに取り組んでまいります。

子育て環境の充実につきましては、「夕張市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て世代の現状や課題等を把握し、児童遊園の整備等を含む、より良い子育て環境の整備に努めてまいります。

小中学校を主とする郷土学習につきましては、ゆうばり小学校の「地域資料室」、夕張中学校の「ゆうばり歴史・教育資料室」を市民に広く公開し、炭鉱の歴史などを学ぶ機会を推進してまいります。

また、社会科副読本「ゆうばり」を活用した総合的な学習の時間も充実させ、特色ある地域学習の推進に努め、子どもの郷土愛と豊かな創造性の育成につなげてまいります。

図書コーナーにつきましては、蔵書の充実に努めるとともに、貸出業務、読み聞かせ活動、巡回文庫及び図書まつりの開催など、市民ボランティアの協力を得て読書活動を推進してまいります。また、清水沢地区公民館での貸し出しにつきましては、道立図書館との連携を図り、今まで以上に図書の拡大と利便性を高めてまいります。

夕張市石炭博物館につきましては、平成 28 年度の実績を踏まえ、来館者数の増加に努めるとともに、市内市外の来館者ニーズに可能な限り応えてまいります。

また、文化の発展と市民の教育に寄与するため、本館の改修を実施し、博物館の継続的な運営に努めてまいります。

高齢者教育につきましては、「もも倶楽部（高齢者学級）」の開設に伴い、道民カレッジ等の連携で講座を充実し、一人でも多くの高齢者が参加して、生きがいや健康増進につながられるよう努めてまいります。

認定こども園につきましては、基本設計策定のため関係機関との協議を推進し、円滑に開設移行するための準備に努めてまいります。

#### 4 おすびに

夕張市民は様々な困難を乗り越え、平成 29 年度から新たな出発をいたします。それは、市民が生活の中でより多くの文化・芸術・スポーツに触れ、様々な学習機会が得られる生涯学習社会の実現であります。

教育委員会といたしましては「地域の子どもは地域で育てる」「生きがいを感じるまち」の意識を意欲的に高めてまいります。人と人とのつながりを大切にし、将来に向けて種をまく環境づくりに、誠心誠意尽力していく覚悟でございます。

市民のみなさま並びに市議会議員のみなさまのご理解とご協力ご支援を、心からお願い申し上げます。